

## ニホンザル管理事業実施計画書

令和2年度ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)	・・・	p 3～6
令和3年度ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)	・・・	p 7～9
令和2年度ニホンザル管理事業実績報告書(市町村分)	・・・	p 11～20
令和3年度ニホンザル管理事業実施計画書(市町村分)	・・・	p 21～30

令和3年8月

宮城県環境生活部自然保護課



令和2年度

ニホンザル管理事業実績報告書(県実施分)

令和3年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和2年度ニホンザル管理事業実績

宮城県

R2計画		R2実績		評価
1 被害防除対策	<p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	1 被害防除対策	<p>(1) 被害防除対策 ・農業被害額は712万円となり、過去3年間の平均565万円を上回った。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等により4事業実施主体における捕獲等の取組を補助した。 (白石市, セケ宿町, 丸森町, 加美町)</p> <p>(3) 交付金の活用や被害防止計画の更新等について支援、指導した。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 ・被害額が増加し、目標を達成できなかつた。より一層の被害対策強化に向け指導及び支援を行う。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通り実施できた。 ・引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通り実施できた。 ・引き続き、交付金の活用等について指導、支援を行う。</p>
2 個体数管理	<p>(1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟, わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	2 個体数管理	<p>(1) 有害捕獲 鳥獣被害防止総合支援交付金により、4事業実施主体における有害捕獲やわな購入、研修会開催等を補助した。 (白石市, セケ宿町, 丸森町, 加美町)</p> <p>(2) 群れの再評価等 ・令和2年度の調査結果も踏まえ、評価基準にあてはめ、17群を再評価した。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通り実施できた。 ・引き続き交付金の活用等について指導及び支援を行う。</p> <p>【自然保護課】 ・継続して、群れの評価を行っていく。</p>

R2計画	R2実績	評価
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域においては、活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 令和2年度鳥獣防止対策広域連携支援業務等により、勉強会を開催し取組みを推進した。</p> <p>(2) 森林整備に活用できる補助事業の情報をホームページに掲載し、周知を図った。また、各種関連会議の場で事業に関する情報提供を行った。</p> <p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 ・仙台市「高倉山B群」は大規模な群れの移動がみられたため、調査対象を一部変更して、動向を注視した。 ・群れの一部分裂群や群れの存在が確認ができないうなど、個体数調査と合わせて、県内の群れ全体を再整理した。 ・その結果、令和2年度現在で県内60群、群れ個体数2,490頭が生息していると断定した。なお、過去の捕獲等で消失が確認された群れは2群あった。(加美「宮崎B群」、仙台・川崎「奥新川A1群」)</p> <p>ロ 被害状況調査 ・新たにGPS首輪を用いた行動追跡調査の対象群を16群とし、個体捕獲・装着に努めたが、遊動域が山間部だったり目撃例の少ない群れもあり、装着できたのは13群に留まった。</p> <p>ハ 捕獲状況調査 ・全体で420頭捕獲で、前年度と比較して、約1.3倍となった。 ・特に七ヶ宿町で大幅な捕獲頭数増(97→198頭)となった。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通り実施できた。 ・引き続き、地域における取組を推進する。</p> <p>【森林整備課】 ・引き続き、補助事業等の周知を図り、農地周辺の未整備森林の解消を支援していく。</p> <p>【自然保護課】 ・継続して、県内生息群の動向や遊動域の変化について状況を把握していく。</p> <p>【自然保護課】 ・継続して、GPS首輪の装着による群れの動向監視を進める。</p> <p>【自然保護課】 ・必要最低限の捕獲とすよう提言していく。</p>
<p>4 その他</p> <p>(1) サルを対象鳥獣とする10市町について、計画の更新を支援した。(仙台市、気仙沼市、登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町、大和町、色麻町、加美町)</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国の研修等への職員派遣は中止となった。</p>	<p>4 その他</p> <p>(1) サルを対象鳥獣とする10市町について、計画の更新を支援した。(仙台市、気仙沼市、登米市、大崎市、蔵王町、七ヶ宿町、丸森町、大和町、色麻町、加美町)</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、国の研修等への職員派遣は中止となった。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通り実施できた。 ・引き続き、計画の作成及び変更を支援する。</p> <p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通りに実施できなかったが、引き続き各地域での被害対策の取組の推進に努める。</p>

R2計画	R2実績	評価
<p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町村が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県（山形及び福島県）と生息（遊動域）の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が重要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 ・保護管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>(3) 地方振興事務所連携会議等を開催した。</p> <p>(4) 市町村との協議において、群れ全体の捕獲ではなく、加害個体のみ捕獲するなどの検討をしてもらうよう努めた。</p> <p>(5) ホームページや担当課との電話連絡による情報交換を行った。</p> <p>(6) ニホンザル管理事業業務受託者を介して、関係者への理解と協力を得られるよう努めた。 ・必要に応じて、市町村関係課との意見交換を行った。</p> <p>(7) イ 書面開催 ・概ね承諾を得られたが、宮城県の保護管理計画と市町村の被害対策に対しての更なる情報共有を求められた。</p> <p>ロ 令和2年7月30日（木）開催</p> <p>(8) 県内各地に配置されている林業普及指導員等が、普及活動を通じて、被害防止技術の情報提供を行った。</p>	<p>【農山漁村なりわい課】 ・計画通り実施できた。 ・引き続き、連携会議等により広域的な被害対策を推進する。</p> <p>【自然保護課】 ・継続して、最低限度の捕獲に努めてもらう。</p> <p>【自然保護課】 ・新型コロナウイルス感染症対策により、ICTを活用した。</p> <p>【自然保護課】 ・継続して、県庁各課や市町村関係課との意見交換を行っていく。</p> <p>【自然保護課】 ・コロナ感染症対策による ・継続して、市町村との情報共有に努める。</p> <p>・年次計画、実績について説明し、了承を得られた。</p> <p>【林業振興課】 ・生産者のニーズに応じて引き続き、被害防止技術を提供する。</p>

令和3年度

ニホンザル管理事業実施計画書(県実施分)

令和3年3月

宮城県環境生活部自然保護課

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画

宮城県		※赤字はR2計画からの変更箇所	
R2計画		R3計画	
備		考	
<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>1 被害防除対策</p> <p>(1) 被害防除に関する目標(県全体):各市町村の目標額を集計して算出 ※管理計画に基づく目標:農作物被害は、過去3か年の平均を下回る。</p> <p>(2) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による追い払い、捕獲及び研修会等の対策への補助。</p> <p>(3) 市町村における被害防止体制への支援、指導。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p>	<p>農山漁村なりわい課</p>
<p>2 個体数管理</p> <p>有香捕獲</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p>2 個体数管理</p> <p>(1) 鳥獣被害防止総合支援交付金等による捕獲わなの購入及び有害捕獲等経費、捕獲(狩猟、わな設置)に関する研修会開催補助。</p> <p>(2) 群れの再評価等 これまで収集された評価データを基に現状の評価基準にあてはめ、群れの評価を再検討する。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p>	<p>自然保護課</p>
<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 人家や田畑などでサルによる被害が確認される地域においては、活用できる補助事業の周知等により、サルの隠れ家となり得る農地周辺森林の整備に向けた取組を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p>	<p>3 生息環境管理</p> <p>(1) 緩衝帯設置の推進 農作物被害防止対策に関する研修会の開催等により、農地周辺の環境整備を推進する。</p> <p>(2) 活用できる補助事業等の一覧表を整理し、ホームページや各種関連会議で情報提供を行うことで、農地周辺の未整備森林の解消を支援する。</p> <p>(3) モニタリング調査 生息状況調査 現地調査及び地元住民、市町等の関係者からの聞き取り等により、県内に生息する群れの個体数及び遊動域の変化について、状況を把握する。</p> <p>ロ 被害状況調査 GPS首輪を用いた行動追跡調査を実施し、遊動域や利用環境の特性等について解析を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>森林整備課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p>



R2計画		R3計画		備考
ハ	捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。	ハ	捕獲状況調査 各市町村の捕獲個体データを収集し、状況を把握する。	自然保護課
4 その他	<p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象16市町) ※ R元.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町村が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>4 その他</p> <p>(1) 事業を円滑に実施するため「鳥獣被害防止特措法」に基づき、市町村鳥獣被害防止計画の策定を支援する。 (計画作成済み市町村 サル対象15市町) ※ R元.10末時点</p> <p>(2) 農作物被害対策の指導を担う職員を育成し地域での対策を推進する。</p> <p>(3) 地方振興事務所単位の広域連携会議等において、被害状況や防除策等の情報交換、研修会等を実施し、被害防止を図る。</p> <p>(4) 管理計画区域市町村が実施計画書を作成する際に、農業協同組合、猟友会支部等と連携し、市町間の調整や、助言・指導を行う。</p> <p>(5) 関係隣接県(山形及び福島県)と生息(遊動域)の状況、農林作物被害状況、捕獲状況、各種管理対策について情報交換を行い、管理事業の効果的な実施に向けて連携を図る。</p> <p>(6) 管理計画に基づく管理事業は、幅広い関係者の理解と協力が必要なことから、実施状況についてホームページ等を通じ公表するほか、管理計画の趣旨やサルに利用されにくい農地・集落管理についても、リーフレット、各種自然保護及び鳥獣被害対策関連連行事を通じ普及啓発を図る。</p> <p>(7) 管理事業及び管理計画の見直しの検討等を行うため、次の会議を開催する。 イ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ニホンザル部会 管理計画の内容及び実行状況についての分析・評価等。</p> <p>ロ 宮城県特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会 管理計画の作成、実行方法等についての検討、関係者の合意形成。</p> <p>(8) 林床等の屋外で栽培される特用林産物の被害防除対策等について情報提供を行う。</p>	<p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>農山漁村なりわい課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>自然保護課</p> <p>林業振興課</p>	



令和2年度

ニホンザル管理事業実績報告書(市町村実施分)

ニホンザル

白石市	12
角田市	13
蔵王町	14
七ヶ宿町	15
川崎町	16
丸森町	17
仙台市	18
山元町	19
加美町	20

令和3年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和2年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

白石市

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 2.81 ha 2.35 ha (2) 金額(下段前年度実績) 3,166 千円 2,970 千円 (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 3.33 ha (2) 金額 4,913 千円 ※農山漁村がわい罪に報告している数値と整合性をとること (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他 ※農山漁村がわい罪に報告している数値と整合性をとること			・防護柵等により防除を行っているが、出沒範囲が拡大しており、これまで被害のなかった区域での被害が目立つ。 引き続き追い上げや捕獲、防除対策を強化していく。
2 被害防除対策 (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底	2 被害防除対策 (1) 実施隊による銃器での追い上げ、捕獲を実施した。追い払い用火を配布した。 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助を行った。 (3)		R2年度被害対策費合計 1,968 千円 ・花火に慣れた個体や群れもあり、効果が一時的である。 48件1,626,000円を補助し、被害を軽減できた。	
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 1 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 51 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭		・当初計画頭数に近い51頭を捕獲し、被害を軽減できた。 ・発信機装着は「新町A群の集団」「越河不明群」に属する各1頭に装着することができた。	
4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進	4 生息環境管理 (1) 水田周辺の除草作業を推進するよう、啓発を図った。 (2) 山林側の除草作業を推進するよう、啓発を図った。		・急傾斜等による田畑の管理が困難な場所が多く、耕作放棄地も増加しており、地域全体での環境管理が進まない。	
5 その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る	5 その他 (1)			

令和2年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

角田市

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		
(1) 面積(下段前年度)	0.00 ha 0.00 ha	(1) 面積	0.00 ha	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハナレザルによる農作物被害の発生はあったが、軽微なものであった。</li> <li>・実施隊員による追い払い、定期パトロールのほか、農業者による追い払いにより、被害を最小限にとどめることができた。</li> </ul>
(2) 金額(下段前年度)	0千円 0千円	(2) 金額	0千円	
(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類		(3) 作物	えんどう豆、未成熟トウモロコシ、ジャガイモ	
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		R2年度被害対策費合計 652千円
(1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知		(1) 機会を捉えエサとなりえるものを放置しないよう呼びかけた。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民に対し、食物残渣や収穫物をニホンザルが発見しやすい場所に置かないなど、被害を呼び寄せない対策を推奨するとともに、実施隊員2名による定期パトロールや追い払い等により、ごく軽微な被害にとどめることができた。</li> </ul>
(2) 定期的パトロールの実施		(2) 7月初旬から翌年3月初旬まで、実施隊員による定期的パトロールを実施した。		
(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施		(3) 定期的パトロール時や出没时间に追い払い、捕獲を実施した。捕獲実績はなかった。		
(4) 被害内容に応じた諸対策の提案		(4) 被害相談等の際し、自宅の戸締りや同作業場に収穫作物を放置しないよう指導、また電気柵設置等の被害対策を紹介した。		
3 個体数管理		3 個体数管理		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き捕獲に努めたが、捕獲実績はなかった。</li> <li>しかし、巡回による被害抑止が図られたものと思われる。</li> </ul>
個体数調整による目標捕獲数	0頭	個体数調整による捕獲数	0頭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施隊員による定期パトロールは、地域の出没情報の収集や被害抑止に効果的であり、生息環境の拡大防止に有効と推量される。</li> <li>・依然として住民の被害防止意識の向上が課題であり、引き続き被害防止のための備え等、意識向上に努めていくことが引き続き重要な視点と思料される。</li> </ul>
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	10頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	0頭	
発信機装着の増設数	0頭	発信機装着の増設数	0頭	
発信機装着の更新基数	0頭	発信機装着の更新基数	0頭	
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大		(1) 実施隊員により、被害防止パトロールを実施した。		
5 その他		5 その他		
(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上		(1) 被害相談時に防止のための自己防止対策等を提案した。		

令和2年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

蔵王町

R2計画	R2実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積（下段前年度） 0.01 ha 0.01 ha</p> <p>(2) 金額（下段前年度） 37 千円 22 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、白菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害状況</p> <p>(1) 面積 0.04 ha</p> <p>(2) 金額 36 千円</p> <p>(3) 作物 林檎、スイートコーン、白菜、長芋</p> <p>(4) その他</p> <p>※蔵山漁村なわいらい課に報告している数値と整合性をとること</p> <p>※蔵山漁村なわいらい課に報告している数値と整合性をとること</p>	<p>令和2年度は、山の果実等の実りが悪く、里山への出没が増加し、農作物への被害が前年度より増加した。</p> <p>被害面積については、目標値を大きく上回ったが、被害金額については、目標値を下回り、計画を達成できた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火を併用した効果的な追払い、捕獲の実施。</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。</p> <p>(3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火を併用した効果的な追払いを実施した。</p> <p>捕獲実績 0頭</p> <p>(2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施しているが、現在実施している追払い活動や防除対策等で被害の拡大が抑えられている状況であるため、設置に対する補助金の申請はなかった。</p> <p>(3) 目撃報告等があった地域で、餌となる収穫作物や残渣を放置しないよう、農家に指導した。</p>	<p>R2年度被害対策費合計 14152 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 9,205千円</li> <li>野生鳥獣被害防止施設（電気柵等）設置事業補助金 4,070千円</li> <li>鳥獣被害対策担い手育成事業補助金 877千円</li> </ul> <p>近年、これまでサルの目撃報告がなかった地域でもハナレザル等の目撃報告が寄せられているため、今後も追い払い活動や防除対策等を継続して実施し、過去のニホンザルが生息していなかった町内の自然環境を維持していきたい。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 1 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 生息調査の実施。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭</p> <p>発信機装着の増設数 0 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 1 頭</p> <p>(1) 従来のテレメリー法を用いた位置特定調査に加え、より精度が高いGPS発信機を用いた生息調査を実施</p>	<p>捕獲実績はなかった。</p> <p>発信機装着更新は1頭あった。今後もGPS発信機による生息調査を継続的に実施し、群れの個体数や遊動域、利用地域の変化を追いだけでなく、群れの詳細な利用場所の把握を試み、対策や方針を検討するための基礎データを収集していく。</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 目撃や被害報告があった農家へ耕地と生息地である森林等との間について除草を行うよう指導し、森林等から農地へ出没し難い環境づくりに努めた。</p>	<p>令和2年度は、山の果実等が凶作だったが、防除対策を強化することにより、里山への出没は減少した。また、山林と耕地又は宅地との間を除草し緩衝帯を作ること、ニホンザルの出没を大幅に減少させることができた。</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会と連携して必要な対策を講じた。</p>	<p>今後も引き続き南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策を実施し、被害拡大防止に努めていく。</p>

令和2年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

七ヶ宿町

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 6.30 ha 1.49 ha (2) 金額(下段前年度) 247 千円 1,369 千円 (3) 作物 水稲、野菜の被害の軽減 (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.35 ha <small>※農山漁村なわがわい課に報告している数値と整合性をとること</small> (2) 金額 470 千円 <small>※農山漁村なわがわい課に報告している数値と整合性をとること</small> (3) 作物 水稲、野菜、豆類 (4) その他			・昨年度と比べ被害面積及び被害額が減少した。
2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施	2 被害防除対策 (1) 電気柵等の設置の推奨を行った。 (2) 追い払い活動を重点的に行った。			R2年度被害対策費合計 46,491 千円 ・電気柵等の設置増加により、農作物被害を減少するに至った。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 300 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 生息調査の実施	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 198 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 1 頭 (1) 生息調査の実施			・計画頭数には満たなかったが、昨年度と比較して、倍の頭数捕獲した。 ・発信機装着数も計画に満たなかったが、装着及び更新を各1頭に実施することができた。
4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減	4 生息環境管理 (1) 指導は行っていたが、未収穫農作物等の放置が見受けられた。 (2) 広報は行っていたが、大幅な軽減には至らなかった。			・今後も、指導方法の改善及び周知の徹底、追い払い隊による呼びかけ等を積極的に行う必要がある。
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施	5 その他 (1) 効率的な追い払い活動及び生息調査の実施、捕獲活動を実施した。			・今後も継続して、効率的な追い払い活動及び生息調査の実施を行う。

令和2年度ニホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

川崎町

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積 (下段前年度) 0.24 ha 0.34 ha (2) 金額 (下段前年度) 113 千円 161 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼ (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.16 ha (2) 金額 198 千円 (3) 作物 野菜類、果樹類、芋類 (4) その他 <small>※鹿山漁村なりわい課に報告している数値と整合性をとること</small> <small>※鹿山漁村なりわい課に報告している数値と整合性をとること</small>			<ul style="list-style-type: none"> <li>年々農作物被害が増加しているが、町へ被害報告を行わない農家が増加しており、被害面積及び被害金額の実態把握が困難になっている。</li> </ul>
2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助	2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助			<p>R2年度被害対策費合計 13,022 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①R2農作物有害鳥獣駆除対策業務費 3,324千円</li> <li>②サルパトロール 1,360千円</li> <li>③電気柵補助金 8,338千円 (イノシシ、ツキノアグマ、ニホンザル含む)</li> </ul>
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 1 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 3 頭			<ul style="list-style-type: none"> <li>捕獲頭数については、町の被害防止計画の捕獲頭数分を捕獲した。</li> <li>被害は年々増加傾向にあるため、農家への電気柵等の防護柵の設置の徹底を引き続き指導していく。</li> <li>発信機装着の更新は、計画より多い3頭実施した。</li> </ul>
4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。			<ul style="list-style-type: none"> <li>計画どおり、実施した。</li> </ul>
5 その他	5 その他			



令和2年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

丸森町

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.08 ha (2) 金額(下段前年度) 100 千円 179 千円 (3) 作物 水稲, 豆類, えんどう, きゅうり, 大根, 柿, (4) その他	1 被害状況 (1) 面積 0.08 ha ※農山漁村なわがいに報告している数値と整合性をとること (2) 金額 179 千円 ※農山漁村なわがいに報告している数値と整合性をとること (3) 作物 水稲, 豆類, えんどう, きゅうり, 大根 (4) その他			<ul style="list-style-type: none"> <li>鳥獣被害対策実施部隊が銃器による追払い及び捕獲を2人体制で実施(年間延べ146日)し、一定の効果を得ることができた。</li> </ul>
2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火の無料配布(希望者) (2) 鳥獣被害対策実施部隊による銃器を使った追払い, 捕獲の実施	2 被害防除対策 (1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火の無料配布(希望者) (2) 鳥獣被害対策実施部隊による銃器を使った追払い, 捕獲の実施			<ul style="list-style-type: none"> <li>R2年度被害対策費合計 1533 千円</li> <li>電気柵設置に対する補助により, 受益者負担の軽減が図られ所期の目的が図られた。</li> <li>鳥獣被害対策実施部隊による銃器を使った追払い, 捕獲の実施 1,533千円</li> </ul>
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 20 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 0 頭	3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 34 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭			<ul style="list-style-type: none"> <li>計画より14頭多い34頭を捕獲した。</li> <li>発信機装着の増設・更新は実施しなかつた。</li> </ul>
4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。	4 生息環境管理 (1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかけた。			<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年8月1日に, 町内全戸に耕作放棄地の除草や山林の適正な管理をお願いするチラシを配付した。</li> </ul>
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。	5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行った。 (2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図った。			<ul style="list-style-type: none"> <li>発信機装着は実施しなかつたが, 装着個体を合む群れの遊動域把握に有効であり, それに基づいて追払いを実施し, 実施隊員, パトロール員らの連携が効果的に行われた。</li> </ul>

令和2年度二ホンザル管理事業の実績と評価 (市町村分)

仙台市

R2計画	R2実績	評価
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 9a未満</p> <p>(2)金額 120千円未満</p> <p>(3)作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 4.36a</p> <p>(2)金額 110千円</p> <p>(3)作物 野菜(トウモロコシ、カボチャ等)、柿、栗等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害)</p> <p>・人身被害 なし</p> <p>・生活被害 なし</p>	<p>・被害面積及び金額について、目標を達成することができた。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <p>・市HP「サル群れ情報マップ」により、群れの位置情報を公開</p> <p>・サルとの適切な接し方や被害防止対策について、市HPへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p> <p>・出役が多い地域の地区まつり等で啓発</p> <p>(2)出役情報を受けた際の対応</p> <p>・出役地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防止対策の助言・指導</p> <p>・必要に応じて、花火等による追い払いを実施</p> <p>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <p>・市HP「サル群れ情報マップ」により、群れの位置情報を公開。</p> <p>・市HPや啓発チラシにより、サルとの適切な接し方や被害防止対策、農作物収穫後の残さ処理等について啓発。</p> <p>(2)出役情報を受けた際の対応</p> <p>・必要に応じて、花火等による追い払いや、出役地域の周辺住民への被害防止対策の助言・指導を実施。</p> <p>・宮城総合支所管内、秋保総合支所管内において、箱わなによる捕獲のほか、大規模追い上げ・捕獲及び小規模追い上げ・捕獲を実施。</p>	<p>R2年度被害対策費合計 6,947千円</p> <p>・計画に基づいた地域住民への日常的な啓発や、追い払い・捕獲を実施したことに加え、サルの群れの動向を市HP「サル群れ情報マップ」で公開した。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>想定捕獲数 130頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 15頭(GPS発信機1機を含む)</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <p>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</p> <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</p> <p>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</p> <p>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(4基)</p> <p>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による捕獲数 0頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による捕獲数 63頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 13頭</p> <p>(1)群れの生息状況管理</p> <p>・市内に生息する群れ16群のうち、12群に電波発信機を装着。</p> <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、奥山に戻らない群れへの対応)</p> <p>・箱わなによる捕獲 32頭</p> <p>・大型捕獲施設による捕獲 5頭</p> <p>・銃器による捕獲 26頭</p>	<p>・有害鳥獣捕獲については、県の保護管理計画に基づき加害群を集中的に捕獲するよう調整し、秋保地区と宮城地区では大型捕獲施設を合計4基設置して、5頭を捕獲した。</p> <p>・電波発信機の装着・更新については、目標を下回る16群のうち12群13頭の実績となった。なお、評価の低い加害群になり得る群れを優先して装着することとし、山間部を遊動域とする群れは対象外としている。(定義山A群、高倉山A群など)</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</p> <p>・サルとの適切な接し方や被害防止対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>・群れの位置情報の把握を随時行うとともに、市鳥獣被害対策実施隊が主体となり、追い上げや捕獲を実施。</p> <p>・市ホームページやチラシを併用しサルとの適切な接し方や被害防止対策について、広報啓発。</p>	<p>・計画どおり広報啓発及び追い上げ・捕獲等を実施。</p>
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>

令和2年度二ホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

山元町

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.03 ha 0.00 ha (2) 金額(下段前年度) 108 千円 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他		1 被害状況 (1) 面積 0.00 ha <small>※藤山漁村なりわい課に報告している数値と整合性をとること</small> (2) 金額 0 千円 <small>※藤山漁村なりわい課に報告している数値と整合性をとること</small> (3) 作物 (4) その他		・目撃情報は寄せられたが、被害等はなかった。
2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。		2 被害防除対策	R2年度被害対策費合計 3,394 千円	・被害等が増えるようであれば様々な防除策を検討する必要がある。
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭 (1) 昨年度に1頭の捕獲を行った。今後、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲をする必要がある。		3 個体数管理 個体数調整による捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による捕獲数 0 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 0 頭		・捕獲実績はなかった。 今後は、初動対応として追い払い用の花火を農家個々で実施してもらい、それでも被害が拡大するようであれば捕獲等の対応をしていく必要がある。
4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。		・放置された農作物が誘因の原因(餌付け)になっていることも考えられるため、引き続き、農家に周知を徹底する必要がある。
5 その他		5 その他		

令和2年度ニホンザル管理事業の実績と評価（市町村分）

加美町

R2計画		R2実績		評価
1 被害軽減目標		1 被害状況		
(1) 面積(下段前年度)	1.25 ha 8.70 ha	(1) 面積	3.00 ha	
(2) 金額(下段前年度)	371 千円 2,386 千円	(2) 金額	930 千円	・被害額は減少してきている。 目撃情報から群の状況も変わってきていること が見受けられる。
(3) 作物 水稲、果樹、イモ類、野菜		(3) 作物 水稲・野菜・果樹・イモ類・野菜		
(4) その他		(4) その他		
2 被害防除対策		2 被害防除対策		R2年度被害対策費合計 16,915 千円
(1) 電気柵による畑への侵入防止。		(1) 電気柵による畑への侵入防止		・サルの被害報告が減少してきていると感じる。
(2) 被害防除機材への導入助成。		(2) ワイヤメッシュ柵による農地への侵入防止		
(3) 音火花による追払い。		(3) 音火花による追払い		
(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇		(4) ワナ、銃器による捕獲実施		
(5) サル用囲いによる捕獲				
3 個体数管理		3 個体数管理		
個体数調整による目標捕獲数	0 頭	個体数調整による捕獲数	0 頭	
有害鳥獣捕獲による想定捕獲数	50 頭	有害鳥獣捕獲による捕獲数	24 頭	・サル用囲いワナで15頭捕獲し、有効性が確認 できた。(それ以外は個別に猟銃で捕獲され た。)
発信機装着の増設数	0 頭	発信機装着の増設数	0 頭	
発信機装着の更新基数	0 頭	発信機装着の更新基数	0 頭	
(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上		(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上		
(2) 実施隊によるパトロールの実施		(2) 実施隊によるパトロール		
4 生息環境管理		4 生息環境管理		
(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進		(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進		・宮城県の実態調査事業でサルの生息調査の実施
(2) 耕作放棄地の刈払いの推進		(2) 耕作放棄地の刈払いの推進		
5 その他		5 その他		
(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知		(1) 広報誌等での鳥獣被害防止協議会活動周知		

令和3年度

ニホンザル管理事業実施計画書(市町村実施分)

白石市	22
角田市	23
蔵王町	24
七ヶ宿町	25
川崎町	26
丸森町	27
仙台市	28
山元町	29
加美町	30

令和3年8月

宮城県環境生活部自然保護課

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

白石市

R2計画		R3計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) 2.81 ha 2.35 ha (2) 金額(下段前年度実績) 3,166 千円 2,970 千円 (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 2.68 ha R2被害実績→ 3.33 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 3,029 千円 R2被害実績→ 4,913 千円 (3) 作物 稲、果樹、野菜、いも類 (4) その他		
2 被害防除対策 (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底		2 被害防除対策 (1) 銃器・花火による群れの追い上げ及び捕獲の実施 (2) 電気柵・防護柵の設置に対する補助 (3) 廃棄野菜・生ゴミを適正処理するよう指導の徹底		年間被害対策費合計 ※他の鳥獣との合計額 34,321 千円
3 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 1 頭		3 個体数管理 (1) 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 (群れ捕獲実施予定) 100 頭		
4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進		4 生息環境管理 (1) 水稲の被害軽減のため水田周辺の除草作業を推進 (2) 山林に接する耕作地での山林側の除草作業を推進		
5 その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る		5 その他 (1) 被害防除の研修会を開催し、自己防除の啓発を図る		

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

角田市

R2計画	R3計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.00 ha 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 0 千円 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.00 ha R2被害実績→ 0.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 0 千円 R2被害実績→ 0 千円</p> <p>(3) 作物 未成熟トウモロコシ、カボチャ、果樹類</p> <p>(4) その他</p>	
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知</p> <p>(2) 定期的パトロールの実施</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 食べない野菜、果実等放置の防止を周知</p> <p>(2) 定期的パトロールの実施</p> <p>(3) 銃器による追い払い、捕獲の実施</p> <p>(4) 被害内容に応じた諸対策の提案</p>	<p>年間被害対策費合計 1,752 千円</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 10 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 10 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 実施隊パトロール等による生息域の非拡大</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 住民の被害防止意識の啓発、向上</p>	

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

蔵王町

R2計画		R3計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.01 ha 0.01 ha (2) 金額(下段前年度) 37 千円 22 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.01 ha R2被害実績→ 0.04 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 20 千円 R2被害実績→ 36 千円 (3) 作物 林檎、白菜 (4) その他		・面積、金額ともに令和元年度の90%に抑えることを目標としている。 ・有害鳥獣被害対策実施隊員によるサル見回りパトロール及び有害鳥獣駆逐用火による被害防除を実施。
2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火を併用した効果的な支払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。		2 被害防除対策 (1) 銃器及び有害鳥獣駆逐用火を併用した効果的な支払い、捕獲の実施。 (2) 電気柵、耐用性隔障物の設置に対する補助を実施。 (3) 生ゴミや農作物残渣を適正処理するよう農家へ指導。		年間被害対策費合計 15,136 千円 ・蔵王町農作物有害鳥獣対策協議会町補助金 10,289千円 ・野生鳥獣被害防止施設(電気柵等)設置事業補助金 3,970千円 ・鳥獣被害対策担い手育成事業補助金 877千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 1 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)		3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 0 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 0 頭 発信機装着の更新基数 2 頭 (1) 生息調査の実施。 (2)		
4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。		4 生息環境管理 (1) 山林側との境界付近の除草作業により領域の明確化を図る。		
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。		5 その他 (1) 南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会との広域的な被害対策の実施。		



令和3年度二ホンザル管理事業実施計画（市町村分）

七ヶ宿町

R2計画		R3計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 6.30 ha (2) 金額(下段前年度) 1.49 ha 247 千円 1,369 千円 (3) 水稻、野菜の被害の軽減 (4) その他		1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.30 ha (2) 金額(下段前年度実績) R2被害実績→ 0.35 ha R3被害軽減目標値→ 400 千円 R2被害実績→ 441 千円 (3) (4) その他		<p>昨年度実績の2割減を目標とする。</p> <p>昨年度実績の2割減を目標とする。</p> <p>七ヶ宿町の特産である水稻の被害軽減は重要課題であり、電気柵等の設置の推奨及び定期的な見回りの徹底を指導する。</p> <p>年間被害対策費合計 61,920 千円 電気柵等の設置を促し、管理・見回りについても指導を行う。また、町単独事業で電気柵等の設置及び購入に係る費用の5分の4を補助する。 なお、常時追い払い活動を実施し、二ホンザル</p>
2 被害防除対策 (1) 電気柵等設置の推奨 (2) 追い払いの実施		2 被害防除対策 (1) (2)		
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1) 生息調査の実施	0 頭 300 頭 2 頭 2 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 発信機装着の増設数 発信機装着の更新基数 (1)	頭 頭 頭 頭	<p>・七ヶ宿町鳥獣被害防止計画に基づき明記。</p> <p>・生息調査の実施により、群れの流動域や個体数を把握し、農作物の被害軽減を図る。</p>
4 生息環境管理 (1) 取り残し農作物の除去の指導 (2) 耕作放棄地の軽減		4 生息環境管理 (1) (2)		<p>・行政区長や防災無線、広報誌等を活用し周知・徹底を図る。</p>
5 その他 (1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会との広域的な被害対策実施		5 その他 (1)		<p>・南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会に参画し、隣接自治体等と情報共有を図り、効果的な被害対策を実施する。</p>

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

川崎町

R2計画		R3計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.26 ha 0.37 ha (2) 金額(下段前年度) 130 千円 186 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼちゃ (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.11 ha R2被害実績→ 0.16 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 138 千円 R2被害実績→ 198 千円 (3) 作物 果樹類・とうもろこし・デントコーン・かぼちゃ (4) その他			・昨年と比較して約3割減を目標としている。
2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助	2 被害防除対策 ・実施隊による捕獲活動の実施 ・電気柵の普及、補助 ・実施隊による週一回の町内パトロール ・狩猟免許(銃、わな)取得補助			年間被害対策費合計 15,063 千円 ①R3農作物有害鳥獣駆除対策業務金 3,324千円 ②サルパトロール 1,260千円 ③電気柵補助金 10,000千円 ④狩猟免許取得補助金 479千円
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 1 頭	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 2 頭			
4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。	4 生息環境管理 看板の設置や遊休農地の刈り払いの呼びかけ等の実施。			
5 その他	5 その他			

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

丸森町

R2計画	R3計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 0.10 ha 0.08 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 100 千円 179 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根、柿、りんご</p> <p>(4) その他 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火の無料配布(希望者)</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p> <p>(3)</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.07 ha R2被害実績→ 0.08 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 156 千円 R2被害実績→ 179 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、豆類、えんどう、きゅうり、大根</p> <p>(4) その他 被害防除対策</p> <p>(1) 住民による自主防除対策への支援 ・電気柵設置に対する補助 ・追払い用火の無料配布(希望者)</p> <p>(2) 鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い、捕獲の実施</p> <p>(3)</p>	<p>年間被害対策費合計 4,200 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気柵設置に対する補助</li> <li>・追払い用火 2,100千円</li> <li>・鳥獣被害対策実施隊による銃器を使った追払い 2,100千円</li> </ul>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 20 頭 発信機装着の増設数 2 頭 発信機装着の更新基数 頭</p> <p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭 発信機装着の増設数 3 頭 発信機装着の更新基数 頭</p> <p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 耕作放棄地の除草や山林の適正な管理を呼びかける。</p>	
<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。</p> <p>(2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 南奥羽鳥獣被害防止広域対策協議会への参加による広域的な対策の研修や他市町との情報交換を行う。</p> <p>(2) チラシ配付、被害防止研修会の開催により、農作物の被害防止の啓発を図る。</p>	

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画

仙台市

R2計画	R3計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 9a未満</p> <p>(2)金額 120千円未満</p> <p>(3)作物 水稲、長ねぎ、大根、白菜、りんご等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害) 生活被害の減少や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1)面積 2.1a未満</p> <p>(2)金額 21千円未満</p> <p>(3)作物 野菜(トウモロコシ、カボチャ、ニンジン、ダイコン、ハクサイ、キャベツ、サトイモ) 果樹(カキ、クリ、イチジク)等</p> <p>(4)その他(人身被害・生活被害) 生活被害や人身被害の未然防止を目指す。</p>	<p>・仙台市鳥獣被害防止計画(令和2年度策定)における被害軽減目標(令和5年度)の達成を図る。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <p>・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供</p> <p>・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市ホームページへの掲載や公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p> <p>・出没が多い地域の地区まつり等で啓発</p> <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <p>・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導</p> <p>・必要に応じて、花火による追い払いを実施</p> <p>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1)日常的な啓発・注意喚起</p> <p>・市ホームページ「サル群れ情報マップ」により、サルの群れの位置情報を提供</p> <p>・サルとの適切な接し方や被害防除対策について、市ホームページへの掲載や公共施設等への啓発チラシの配架等により周知啓発</p> <p>(2)出没情報を受けた際の対応</p> <p>・出没地域において、誘引物の除去、周辺の刈り払い・除草、電気柵設置等の被害防除対策の助言・指導</p> <p>・必要に応じて、花火による追い払いを実施</p> <p>・被害状況により、地域特性に応じた追い上げや箱わな等による捕獲を実施</p>	
<p>3 個体数管理</p> <p>想定捕獲数 130頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 15頭(GPS発信機1機を含む)</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <p>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</p> <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</p> <p>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</p> <p>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(4基)</p> <p>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>有香鳥獣捕獲における想定捕獲数 130頭</p> <p>発信機装着の増設・更新数 13頭(GPS発信機装着の1頭を含む)</p> <p>(1)群れの位置情報の把握</p> <p>・電波発信機やGPS発信機装着により、群れの位置情報を把握</p> <p>(2)捕獲対策(人里に馴れ、山に戻らない群れへの対応)</p> <p>・箱わな設置や定期パトロールによる捕獲の実施</p> <p>・大型捕獲施設による多頭捕獲の実施(6基)</p> <p>・地域特性に応じた追い上げ・捕獲の実施</p>	
<p>4 生息環境管理</p> <p>・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</p> <p>・サルとの適切な接し方や被害防除対策につき、市ホームページや公共施設での啓発チラシの配架等により広報啓発</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>・群れの位置情報を適切に把握し、地域特性に応じた追い上げや捕獲を実施</p> <p>・出救地域周辺の刈り払いや除草、電気柵設置等の推奨</p>	
<p>5 その他</p>	<p>5 その他</p>	

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

山元町

R2計画		R3計画		備考
1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) 0.03 ha 0.00 ha (2) 金額(下段前年度) 108 千円 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.03 ha R2被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 108 千円 R2被害実績→ 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.03 ha R2被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 108 千円 R2被害実績→ 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他	1 被害軽減目標 (1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 0.03 ha R2被害実績→ 0.00 ha (2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 108 千円 R2被害実績→ 0 千円 (3) 作物 リンゴ、野菜 (4) その他	
2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。	2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。	2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。	2 被害防除対策 (1) 緊急出動体制の整備、行政区長を経由して、被害を受けた農家個々が追い払い用の花火により追い払いを実施。 (2) サルに対して餌付けしないようチラシ等の周知を行う。 (3) 生ごみや未収穫農作物に適正処理するよう農家へ周知。	年間被害対策費合計 732 千円 実施隊日当、サル捕獲に係る経費(捕獲作業委託料)等
3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1) 昨年度に1頭の捕獲を行った。今後、被害が拡大するようであれば個体数調整のために捕獲をする必要がある。	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1)	3 個体数管理 個体数調整による目標捕獲数 10 頭 有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 頭 発信機装着の増設数 頭 発信機装着の更新基数 頭 (1)	・地域住民からの目撃情報や被害状況があれば、できる限り現場確認し、情報収集に努める。
4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。	4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。	4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。	4 生息環境管理 (1) りんご等の摘果作業による摘果物について、適正に処理することを徹底する。	
5 その他	5 その他	5 その他	5 その他	

令和3年度ニホンザル管理事業実施計画（市町村分）

加美町

R2計画	R3計画	備考
<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) 1.25 ha 8.70 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度) 371 千円 2,434 千円</p> <p>(3) 作物 水稲、果樹、イモ類、野菜</p> <p>(4) その他</p>	<p>1 被害軽減目標</p> <p>(1) 面積(下段前年度) R3被害軽減目標値→ 1.25 ha R2被害実績→ 3.00 ha</p> <p>(2) 金額(下段前年度実績) R3被害軽減目標値→ 371 千円 R2被害実績→ 911 千円</p> <p>(3) 作物</p> <p>(4) その他</p>	<p>・前年比1割から2割の軽減を目標とする。</p>
<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止。</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成。</p> <p>(3) 音火花による追払い。</p> <p>(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇</p> <p>(5) サル用囲いわなによる捕獲</p>	<p>2 被害防除対策</p> <p>(1) 電気柵による畑への侵入防止。</p> <p>(2) 被害防除機材への導入助成。</p> <p>(3) 音火花による追払い。</p> <p>(4) 箱わな、銃器による捕獲、威嚇</p> <p>(5) サル用囲いわなによる捕獲</p>	<p>年間被害対策費合計 43,957 千円</p> <p>・町鳥獣被害防止対策協議会助成事業を活用する。</p>
<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1) 箱わなによる捕獲頭数の向上</p> <p>(2) 実施隊によるパトロールの実施</p>	<p>3 個体数管理</p> <p>個体数調整による目標捕獲数 頭</p> <p>有害鳥獣捕獲による想定捕獲数 50 頭</p> <p>発信機装着の増設数 頭</p> <p>発信機装着の更新基数 頭</p> <p>(1)</p> <p>(2)</p>	<p>・サル捕獲用囲いわなによる捕獲</p> <p>・箱わなによる捕獲</p>
<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p>	<p>4 生息環境管理</p> <p>(1) 放置された果樹のもぎ取り処分の推進</p> <p>(2) 耕作放棄地の刈払いの推進</p>	<p>・広報誌等での警護活動</p>
<p>5 その他</p> <p>(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 町ホームページでの捕獲事業の周知</p>	